



〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❁ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❁ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❁ かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。

第23回全国医師会共同利用施設総会に出席して

院長 川口 憲二

医師会病院を有する日本各地の医師会から、役員及び病院等の施設の職員ら、総勢450名が参加して、第23回全国医師会共同利用施設総会が9月6、7日の2日間岐阜県長良川国際会議場で開かれ出席しました。

初日、総会における唐澤日本医師会会長の特別講演の後、3つある分科会の1つ第一分科会；テーマは「医師会病院、病診連携と地域支援」へ出席しました。ここでは3つの医師会病院がそれぞれ運営する医師会理事の先生方による発表があり、真剣な質疑がなされました。

伊勢崎佐波医師会病院（群馬県）では、大学医局による整形外科医の引き上げで収益が減少するとともに非常勤医の給与の比率が上昇し、病院収益の低下で苦戦を強いられていることから、医師確保対策として、修学制度や医師会研修制度を立ち上げたことが報告されました。

広島市医師会運営・安芸市民病院（広島県）は、国立療養所から公設民営病院へと移行する方式で広島市と市医師会が運営していて、行政（広島市）をバックとした公設民営化の成功例のひとつのモデルになりそうです。

熊本市医師会熊本地域医療センター（熊本県）では、市内の他の公的大病院に押されて来たため、医師会執行部と病院執行部がお互いに協調し、また大学病院との連携をより強化する方策で経営強化につなげて行くことが報告されました。

2日目には、医師会が選択を迫られている新公益法人制度について、日本医師会理事からの講演があり、医師会の公益社団化とその問題点について、解説がありました。

午後からは、岐阜県内唯一の医師会病院である海津市医師会病院を見学しましたが、この病院は当院を少し小型化したものであって、当院と同様医師を始めマンパワー対策に苦慮している状況がうかがわれました。地域医療を担う趣旨で全国に設立された85の医師会病院ではありますが、医療制度改革や医師等マンパワー不足により、いずれの病院もそれぞれ問題を抱え経営的にも難しくなっている状況であります。

そうした中、地域医療を守るためにはかかりつけ医等の医療機関との連携をより強めるとともに、行政の理解と協力が十分に得られることが必要と実感しながら黄金色に色付き始めた濃尾平野周辺を一望して帰路につきました。

2008

おかやま ICLS コース in 赤磐 開催

今年も無事開催することができました

7月13日岡山市瀬戸町の岡山県消防学校において第76回おかやまICLSコースin赤磐を開催いたしました。今年も赤磐市消防署のご協力を得て、赤磐市内外から、受講者18名と見学者6名、また30名以上のインストラクターが参加しました。

前回も説明しましたがICLS（Immediate Cardiac Life Support）コースは医療従事者のための蘇生トレーニングで、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目的としています。講義室では少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

本院が開催するのは4回目となりましたが、救命おかやまの主催で県南を中心に他の医療施設でも開催されています。本院からも多くの職員が受講し、またインストラクターとして参加しています。

本院でもCPA（心肺停止）で救急搬送されて来られる患者様がいます。「一人でも多くの患者様を助けたい」という思いから、ICLSを受講することにより、看護師も患者様を目の前にしても躊躇することなく、対応することが出来るようになりました。

職員全員参加をめざして、今後も行っていききたいと思います。

（看護師 藤本由紀子）



当院宮木医師よりごあいさつ
「今日一日真剣に楽しく研修しましょう」



真剣勝負!!



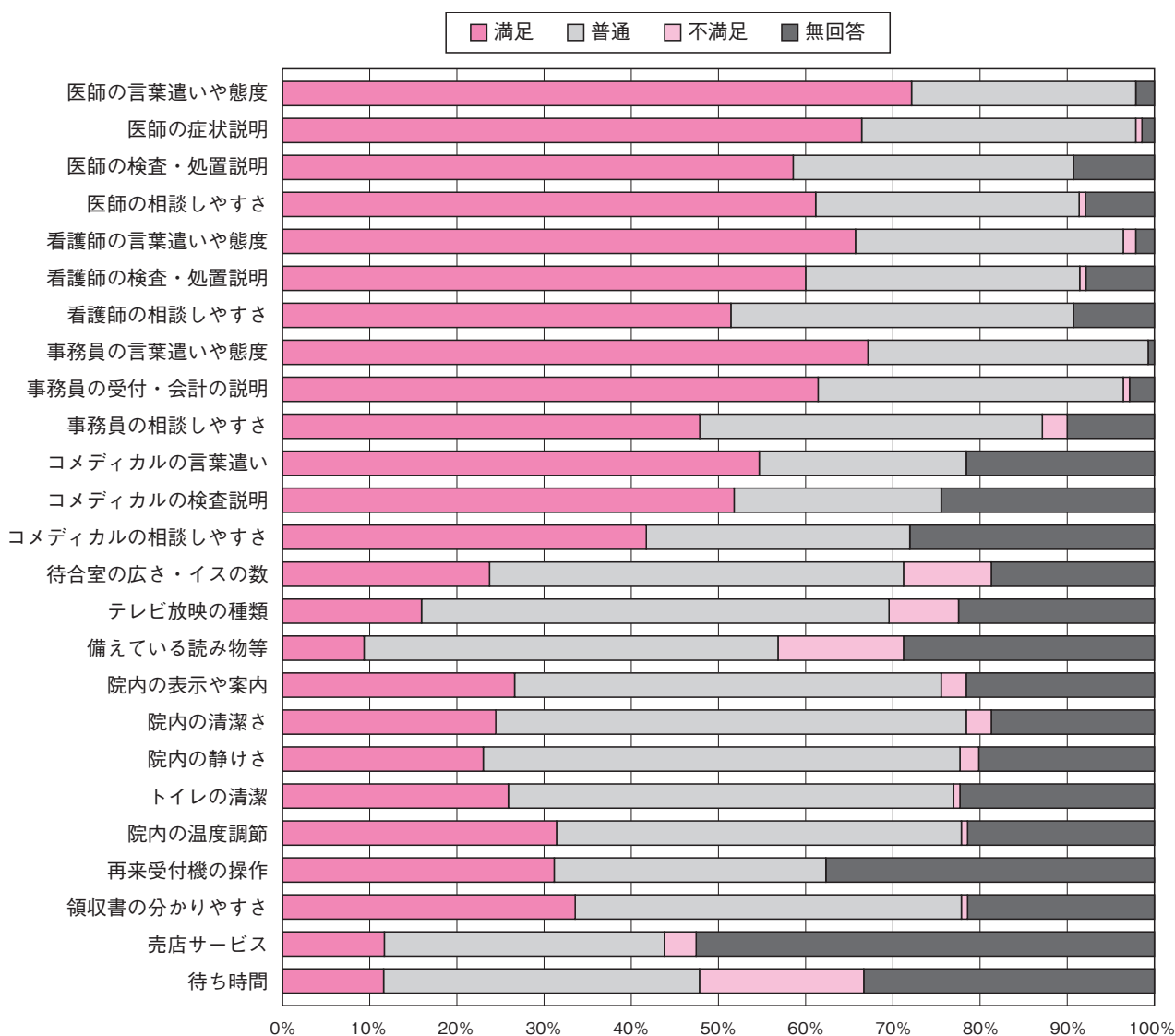
積み重ねてきた経験を若い世代に伝えたい!



研修を終了してホッと一息

外来患者様の満足度調査結果について

当院では、患者様の満足度調査を年1回実施しています。この度6月に外来患者様を対象にアンケートを行い、ご協力をいただきましたのでご報告をいたします。



*コメディカル：放射線技師、検査技師、リハビリ職員、管理栄養士

今回のアンケートでは、外来の待ち時間や環境に関する事で、患者様にご迷惑やご不便をかけていることが明らかになりました。

また、個別のご意見も多数お寄せいただきました。

当院では、皆様の貴重なご意見を参考にさせていただき、地域で安心して気持ちよく利用できるより良い病院を目指して、職員一丸となり更に努力してまいります。

ご協力ありがとうございました。

(外来運営委員会)

中学生職場体験

(岡山チャレンジ・ワーク14)

赤磐市立高陽中学校2年生 平成20年9月10日～12日
赤磐市立桜が丘中学校2年生 平成20年9月17日～19日

今年度は、各4名の生徒さんが職場体験に来られました。真っ白の看護衣と青のエプロンをして、緊張した面持ちで院内見学や様々な医療現場の体験をしました。病院の中で働いている多くの専門職種や、なかなか見学できない医療機器も真近に見ることができ、将来、医師や看護師を希望している生徒さんたちもあり興味深く質問している場面もありました。また、患者様と楽しくお話をしたり車椅子の介助の体験等充実した3日間のようなのでした。

この度の体験が、働く事の喜びや勤労の尊さを知る機会となり、一人一人の職業選択の参考となれば幸いです。

総看護師長 景山 悦子

＜生徒さんの感想＞

- 患者さんとの触れ合いがなかなか出来なかったが、その人を知るためにはまずコミュニケーションが重要であると思った。
- チームワークが大切だと思った。
- Dr. の話を聞いてますますDr. を目指したい。
- 3日間のチャレンジワークで普通では体験出来ない手術、内視鏡など見る事ができ良かった。



将来の夢「ドクター」？



桜が丘中学校の皆さん



いろいろな専門職があることを知りました
(リハビリ室にて)



高陽中学校の皆さん



材料（4人分）

1人分 170kcal

A	むき栗	80 g
	調整豆乳	300ml
	砂糖	大さじ2
	粉ゼラチン	5 g
	水	大さじ2
	むき栗（飾り用）.....	2個
	調整豆乳	適量

栗の豆乳プリン

作り方

- ① ボウルに水を入れ、粉ゼラチンをふり入れ、ふやかしておく。
飾り用のむき栗は、4等分に切っておく。
- ② Aをミキサーにかけ、よく混ぜ合わせる。
- ③ ①のゼラチンを電子レンジ（600w）で約10秒かけてとかし、②に加えてまぜあわせ、プリン型に流し入れ冷蔵庫で冷やし固める。
- ④ ③を型から出し、器に盛り、①の甘栗を飾って豆乳をかける。



AJINOMOTOレシピ百科より

ポエムコーナー

飛翔〜白い翼〜
私の前に白い翼が落ちた
それを拾い上げると空を飛べる感じがした
たったひとつの翼が自信になった
誰も教えていないのに
誰も考えていないのに
どうしてそんなに自信があるだろうか？
それは自分自身が大好きだから
飛翔ができたと思う
その白い翼は私の宝物となり
何度も空を飛べる「自由の翼」に変化して
私の胸の中へ

黒田 秀章

poem

あとがき

- コ ミュニケーション（対話）
- ス マイル（笑顔）
- モ ビリティ（機敏性）
- ス キル（技術）

「天高く馬肥ゆる秋」毎日毎日どのようにして食欲を抑えるか？、永遠の課題です。

今年の夏は集中豪雨に、竜巻、突風、気象状況もおかしければ、アメリカ発の世界的景気後退局面となんだか、暗くなるようなニュースばかりでした。

でも10月に入り、この清々しい空とたわわに実り頭を垂れている稲穂をみていると、新米美味しそうと、つばを飲み込んでしまいました。

これからは景色も日一日と秋モードになり山も鮮やかな錦の色に染まり、私たちを楽しませてくれます。ついでに遠くの景色を見ていると目にも良いとか、一石二鳥です。

冬の前の神様の贈り物。この季節をたっぷり楽しみたいと思います。

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946

E-mail: akaiwahp@gamma.ocn.ne.jp http://www12.ocn.ne.jp/~akaiwahp/

発行日 平成20年10月15日

